

C40 気候変動東京会議

C40 議長 及び 東京都知事による共同声明

我々、C40 議長・トロント市長及び東京都知事は気候変動に関する次の認識を共有する。

世界は今、気温や海面水位の上昇など、地球温暖化に伴う深刻な異変に直面しており、多くの専門家が警告するように、5～6年のうちに徹底した対策を講じなければ、ポイント・オブ・ノーリターンを過ぎ、人類にとって破局的な事態を招きかねないところまで来ている。

それを回避し、この地球環境を次世代に引き継ぐには、国際社会が互いに連携し、温室効果ガスの劇的削減に向けて思い切った舵を切らなければならない。

本年から京都議定書に基づき削減の取組が始まっているが、まだ、多くの課題が残っている。現在、2013年以降の新たな世界的枠組について議論されているが、すべての国が排出ガスの削減を行う必要がある。

地球温暖化対策のためには、国家の役割が重要である。都市は温室効果ガスの排出総量の大きな部分について責任があり、国家は都市が行う先導的な役割を十分認識しなければならない。2009年11月・12月のコペンハーゲンにおける気候変動に関する国際連合枠組条約、第15回締約国会議(COP15)で、C40は都市が今、気候変動に対する戦いに立ち上がり、先導的な役割を果たしつつあることを示すことができるだろう。

このような徹底した緩和策に取り組むとともに、我々は、眼前に迫った危機に対処するため、差し迫る気候変動の影響への適応策にも真剣に取り組んでいかなければならない。

こうした共通認識に立ち、我々は、地球温暖化に伴う課題解決を図るため、C40都市がこれまで培ってきた技術や経験を分かち合い、課題を共有する都市の間で連携しながら、共同行動を推進していくこととした。今後、我々は、都市間で、最新の技術情報や人的な交流を推進するとともに、市民のライフスタイルの見直しを伴うムーブメントを提起し、これらを具体的な取組として、各都市共同で企画実施する。